

旅客船事故対応訓練を実施しました

平成28年6月26日に姫路港において、姫路海上保安部、姫路市消防局・飾磨消防署、飾磨警察署、姫路医療センター等9機関約90名による旅客船事故対応訓練を実施しました。

当保安部管内では、小豆島や家島諸島と姫路港とを結ぶ定期旅客船や家島周辺に設置された釣堀までお客を運ぶ高速旅客船が就航していることから、今回の訓練では、同船を実際に使用して高速旅客船の事故により多数の負傷者が発生したことを想定し、海保、消防、警察各機関間の情報伝達、「トリアージタグ」を活用した負傷者情報の伝達、消防・医療機関への引継ぎ等、洋上における相互連携を中心とした実働訓練を実施しました。

本訓練における負傷者役として、地元専門学校学生28名に協力していただきました。

旅客船内での負傷者確認



巡視艇から岸壁上に負傷者を救助・移送



岸壁上に移送された負傷者のトリアージを行っている状況

